

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成25年6月6日 (2013.6.6)

【公表番号】特表2012-526894(P2012-526894A)

【公表日】平成24年11月1日 (2012.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2012-045

【出願番号】特願2012-510816(P2012-510816)

【国際特許分類】

C 0 9 J 175/14 (2006.01)

C 0 9 J 171/02 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 4/00 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/40 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 J 175/14

C 0 9 J 171/02

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 4/00

C 0 9 J 7/02 Z

B 3 2 B 27/00 M

B 3 2 B 27/40

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月17日 (2013.4.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 1 7 】

NW = 外圧を加えないで、湿潤は観察されず。

以下に、本願発明に関連する発明の実施形態について列挙する。

[実施形態 1]

少なくとも 1 種の X - A - B - A - X 反応性オリゴマーを含む混合物の硬化物を含む、
接着剤であって、式中、

X はエチレン性不飽和基を含み、

B は 5 , 0 0 0 g / モル以上の数平均分子量を有する非シリコン単位を含み、

A はウレタン結合基を含み、前記接着剤は光学的に透明であり、自己湿潤性であり、かつ除去可能である、接着剤。

[実施形態 2]

B がオキシアルキレン基を含む、実施形態 1 に記載の接着剤。

[実施形態 3]

前記接着剤が 2 0 未満の T g を有する、実施形態 1 に記載の接着剤。

[実施形態 4]

前記接着剤が - 1 0 未満の T g を有する、実施形態 1 に記載の接着剤。

[実施形態 5]

前記接着剤が微細構造化接着剤である、実施形態 1 に記載の接着剤。

[実施形態 6]

前記混合物の硬化物が、エチレン性不飽和材料を更に含む、実施形態 1 に記載の接着剤。

[実施形態 7]

添加剤を更に含み、該添加剤が、感圧接着剤、可塑剤、粘着剤、又はそれらの混合物を含む、実施形態 1 に記載の接着剤。

[実施形態 8]

感圧接着剤 5 ~ 60 重量 % と、可塑剤 5 ~ 55 重量 % と、を含む、実施形態 9 に記載の接着剤。

[実施形態 9]

少なくとも 1 種の X - A - B - A - X 反応性オリゴマーであって、式中、
X はエチレン性不飽和基を含み、B は 5 , 000 g / モル以上の数平均分子量を有する非シリコン単位を含み、A はウレタン結合基を含む、反応性オリゴマーと、
反応開始剤と、を含む、硬化性反応混合物。

[実施形態 10]

前記反応開始剤が光開始剤である、実施形態 9 に記載の硬化性反応混合物。

[実施形態 11]

エチレン性不飽和材料を更に含む、実施形態 9 に記載の硬化性反応混合物。

[実施形態 12]

少なくとも 1 種の X - A - B - A - X 反応性オリゴマーであって、式中、X はエチレン性不飽和基を含み、B は 5 , 000 g / モル以上の数平均分子量を有する非シリコン単位を含み、A はウレタン結合基を含む、反応性オリゴマーと、
反応開始剤と、を含む硬化性組成物を提供する工程と、
前記硬化性組成物を硬化させる工程と、を含む、接着剤を調製する方法。

[実施形態 13]

少なくとも 1 種の X - A - B - A - X 反応性オリゴマーであって、式中、X はエチレン性不飽和基を含み、
B は 5 , 000 g / モル以上の数平均分子量を有する非シリコン単位を含み、A はウレタン結合基を含む、
反応性オリゴマーの硬化反応生成物を含む、感圧接着剤であって、該接着剤は光学的に透明であり、自己湿潤性であり、かつ除去可能である、接着剤と、
基材と、を含む、接着物品。

[実施形態 14]

前記基材がテープ裏材、フィルム、シート又は剥離ライナーである、実施形態 13 に記載の接着物品。

[実施形態 15]

前記フィルムが光学活性フィルムを含み、前記光学活性フィルムが、可視ミラーフィルム、カラーミラーフィルム、太陽光反射フィルム、拡散フィルム、赤外線反射フィルム、紫外線反射フィルム、例えば輝度向上フィルム若しくは二重輝度向上フィルムのような反射偏光フィルム、吸収偏光フィルム、光学的に透明なフィルム、薄色フィルム、例えば光コリメートフィルムのようなプライバシーフィルム、又は反射防止フィルムを含む、実施形態 14 に記載の接着物品。

[実施形態 16]

前記光学活性フィルムが太陽光制御フィルムを含む、実施形態 15 に記載の接着物品。

[実施形態 17]

前記光学活性フィルムがコーティングされたフィルムを含み、前記コーティングがハードコート、防曇コーティング、耐引っ掻きコーティング、プライバシーコーティング、又はこれらの組み合わせを含む、実施形態 15 に記載の接着物品。

[実施形態 18]

前記光学活性フィルムがタッチスクリーンセンサーを含む、実施形態 15 に記載の接着

物品。

【実施形態 19】

B がオキシアルキレン基を含む、実施形態 13 に記載の接着物品。

【実施形態 20】

第 2 の基材を更に含み、前記第 2 の基材が、剛性表面、可撓性表面、テープ裏材、フィルム、シート、又は剥離ライナーを含む、実施形態 13 に記載の接着物品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 種の X - A - B - A - X 反応性オリゴマーを含む混合物の硬化物を含む、
接着剤であって、式中、

X はエチレン性不飽和基を含み、

B は 5,000 g / モル以上の数平均分子量を有する非シリコン単位を含み、

A はウレタン結合基を含み、前記接着剤は光学的に透明であり、自己湿潤性であり、かつ除去可能である、接着剤。

【請求項 2】

B がオキシアルキレン基を含む、請求項 1 に記載の接着剤。

【請求項 3】

少なくとも 1 種の X - A - B - A - X 反応性オリゴマーであって、式中、

X はエチレン性不飽和基を含み、

B は 5,000 g / モル以上の数平均分子量を有する非シリコン単位を含み、

A はウレタン結合基を含む、

反応性オリゴマーの硬化反応生成物を含む、感圧接着剤であって、該接着剤は光学的に透明であり、自己湿潤性であり、かつ除去可能である、接着剤と、

基材と、

を含む、接着物品。

【請求項 4】

B がオキシアルキレン基を含む、請求項 3 に記載の接着物品。